

富山新港火力発電所石炭2号機の発電停止について【第1報】

平成24年7月18日
北陸電力株式会社

本日（7月18日）、9時32分富山新港火力発電所石炭2号機（定格出力：25万kW）は、20万kW運転中に、ボイラー内部の燃焼ガス圧力の異常を検知し、自動停止しました。

圧力が異常となった原因については、現在、調査中です。原因が判明次第、改めてお知らせいたします。

富山新港火力発電所石炭2号機の停止により、本日の供給力は577万kWから554万kWに減少いたしますが、予想最大電力510万kWに対する供給予備率は、8.6%を確保しており、電力の安定供給に支障はありません。

別紙 ボイラー概要

以 上

【ボイラー 概要】

